

# Ginkyo

www.kumamoto-hsu.ac.jp

銀杏学園通信 ぎんぎょう

特集

SPECIAL FEATURE

- 新理事長就任のあいさつ
- 新キャンパステラスリニューアルオープン
- アカデミックスキル支援センター開設



熊保大生の今を紹介します

世界に羽ばたけ!

## 未来の巨匠

Vol.2

坂田 圭士郎さん

大学院 リハビリテーション領域1年

枠に囚われず、夢は大きく!

「言語聴覚士」として

人の役に立ちたい。

特集・新理事長就任のあいさつ	2
特集・新キャンパステラス リニューアルオープン	4
特集・アカデミックスキル支援センター開設	5
News&Topics	6
未来の巨匠	8
新任教職員紹介	9
令和3年度入試結果	10
ふれあいSALON	11
新入生インタビュー	12
大学院紹介	13
学園情報	14
国際交流/Library/基本理念/教育目標/将来ビジョン	19
令和4年度 入試概要	20

新理事長就任のあいさつ

# 新理事長に木下統晴氏が就任 社会に貢献する人財の育成

22世紀を見据え、「一円融合」の精神で、  
「自然・健康・文化・サイエンス熊本」の  
実現をめざします。

5年前に来熊し、化血研において難しい課題を処理してきました。2018年の製薬事業譲渡後、本学、熊本大学、東京理科大学の三大学に5つの講座を開設し、また、阿蘇シンポジウム、顕彰、研究助成、公開講座、奨学金の給付等、公益を中心とした事業を進めました。

国立感染症研究所元室長の高橋元秀先生を本学に招聘し、「生物毒素・抗毒素共同研究講座」を設置、独特の研究・教育を開始しました。

更に、日本で初めて大学に品質保証関連講座を設置しました。蛭田修特命教授の「品質保証・精度管理学共同研究講座」を本学に、櫻井信豪教授の「医薬品等品質・GMP講座」を東京理科大学に開設しました。2講座は、民間と行政のトップランナーによる連携の必要性を考えたためです。化血研問題に携わる中で、製薬企業、医療機関、検査機関等の生命線であるにも関わらず、日本の大学にはその品質保証を教育・研究する講座はありませんでした。

3月19日本学の理事長に就任し、建学の精神、そして、保健(健康)科学という観点、人の健康をいかに確保し、健康寿命を延ばすかにつき超長期的視点で考えています。

その実現に向けるのが「自然・健康・文化・サイエンス熊本」です。22世紀を見据え、大学、高校、産官学民、自然科学、生命科学、社会科学、音楽、芸術文化を含め、真に社会に貢献する人財を育てていく、「保健」「科学」の先見性を再確認し、公衆衛生で、人々の幸せをつくる内容です。

本学では、間もなく1万名に到達する卒業生、医療機関、企業、行政、地元の皆様の温かいご支援を賜り、「一円融合」の精神で、未来を拓く人財の輩出に努めてまいります。

2021年5月19日

学校法人银杏学園 理事長 **木下統晴**



# 未来を拓く人財の輩出に努めます。

真に社会に貢献する人財を育て、  
「保健」「科学」の先見性を再確認し、  
公衆衛生で、人々の幸せをつくります。



学長  
竹屋 元裕



副学長  
檜原 真二



附属図書館長  
飯山 準一



保健科学部長  
渡辺 雄一



医学検査学科長  
南部 雅美



看護学科長  
羽田野 花美



リハビリテーション学科長  
田中 聡



共通教育センター長  
東谷 孝一



理学療法学専攻長  
久保 高明



生活機能療法学専攻長  
山野 克明



言語聴覚学専攻長  
大塚 裕一



大学院保健科学研究科長  
川口 辰哉



助産別科長  
原田 なをみ



特集

SPECIAL  
FEATURE

02

新キャンパス

# 新キャンパステラス(ラーニングcommons)が リニューアルオープン

【キャンパステラス】

積極的な活用を期待します!

学長 竹屋元裕

このたび、平成28年4月に1号館内に開設したキャンパステラスを移設し、旧レストラン跡地に新キャンパステラスを開設しました。図書館と一体化させたラーニング・commonsとして位置づけており、グループや個人での自己研鑽の場として大いに活用して欲しいと思います。また、アカデミックスキル支援センターは、平成27年4月に設置したアカデミックスキルラボをセンター化したもので、アカデミックスキル科目では、同センター教員に加え、熊本日日新聞による寄附講義として同社の渡邊元生客員教授によるライティングやプレゼンテーション能力の養成が行われます。新施設の利用によって、学生諸君の学力や能力の向上を期待しています。



【tatamiエリア】

## 4月新図書館オープン!

キャンパステラス(ラーニングcommons)を1号館から移転し、新たな機器・設備も追加し、リニューアルオープンしました。入退館システムを中央に配置し、図書館資料や電子リソース等の学術資料と端末機器を館内自由に持ち運び、議論を深め、研究発表等に活用できます。大型ディスプレイを備えたコロシアム型のプレゼンスペースや、tatamiエリアも新設。

また、学生からの長年の要望であった席数も増加され、323席となりました。また、リフレッシュコーナーも設置し、学習や研究の合間の気分転換に利用できます。(コロナ禍においては、指定のルールのもとご利用いただいております。)各種サービス等、詳細は、図書館ホームページや図書館報2021年春号をご覧ください。

【学習室】



## アカデミックスキル支援センター開設

## 対話による「育ち場」をめざして

新キャンパステラスに隣接してアカデミックスキル支援センターが開設されました。徹底した対話を通じ、学生相互に教え合い、学び合う中から読む・聞く・書く・話す力、そして考える力の獲得をめざしています。

## 対話重視のサポート

センターでは、「対話」を通じ、あらゆる局面において自分の頭で「考える」ことを促しています。例えば、ライティング指導では、添削指導を極力排し、構想段階から寄り添うという形を取っています。これにより、書き手は自覚的に考える経験をしていくことになります。その根底にあるのは、「良いペーパー」の完成より「良い書き手」の育成をという考え方。プレゼンテーション指導等も同様の考えに立って行っています。



## 共に学ぶ経験者～学生指導員

センターの最大の特徴は訓練された学部生が学生指導員となって、「共に学ぶ経験者」としてさまざまな支援の現場に入っていることです。指導員のモチベーションは高く、日常的に自己研鑽に取り組んでいます。活動も活発で、これまで授業支援のほか、独自テキストや学修及びPR動画作成、高校生向け文章作成講座の開催などに取り組んでいます。指導員予備軍となる学生リーダー希望者も年々増加しています。



在学生の皆さんへ

指導希望者は事前に連絡を入れてください。文章の持ち込み指導も歓迎します。  
【連絡先】 E-mail : [aslab@kumamoto-hsu.co.jp](mailto:aslab@kumamoto-hsu.co.jp)

【あいさつ】

すべての学生のために  
「よりよい支援」を提供

センター長 渡辺 雄一

昔は「読み、書き、そろばん」という言葉がありました。現在は少し変わって「読み、書き、パソコン」が社会で必要とされる基本的な技能といえるでしょう。大学での学修においては、読解力、文章作成力、パソコンを活用する力に加え、批判的分析力や論証力、さらには対話力といった技能も必要となってきます。これらの技能(アカデミックスキル)の修得を支援する全学的組織として、平成29(2017)年に「アカデミックスキルラボ」が開設されました。ラボはこの4年間で試行錯誤を重ねながら、よりよい支援を提供するための体制を作ってきました。この度(令和3年4月)に図書館エリアに移転し、新たに「アカデミックスキル支援センター」としてスタートしました。今後、活動の中核を担う学生指導員を中心に、すべての学生のための「育ち場」としてセンター機能の充実を図っていきます。

## 実践の場

## 「アカデミックスキルⅠ～Ⅲ」

センターによる学修支援は初年次教育と大きく重なっています。1年次前期～2年次前期の3 Semesterにわたって開講されている全学必修科目「アカデミックスキルⅠ～Ⅲ」を主な実践の場とし、授業効果を測りながら指導法の研究、テキスト開発等にあたっています。個別指導にも随時対応しており、今後は、サポートアワーや各種講座等の開設も検討していくつもりです。

# News & Topics

キャンパス ニュース & トピックス

## 卒業式、修了式

令和3年3月12日(金)にアリーナで卒業式・修了式を挙行了しました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大を防止する為、残念ながら式典を開催することができませんでしたが、今回は、式典の参加者は卒業生・修了生および本学教職員のみで、学科単位を基本として時間帯を分散し、時間短縮により実施しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、無事に卒業式・修了式を執り行うことができました。卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



## 熊本県スポーツ協会と連携協定を締結

本学は、令和3年6月1日付けで公益財団法人 熊本県スポーツ協会と連携協定を締結しました。次世代アスリートの育成を行うことで、競技力の向上と継続的なトップアスリートの輩出に結び付け、熊本県のスポーツ振興及び県民幸福量の増大を図ることを目的とした、「くまもとワールドアスリート事業」を支援・推進するための連携協定です。本学では主にメディカルチェックを担当する予定です。

## 朝日野総合病院と連携協定を締結

令和3年3月15日(月)、本学は医療法人朝日野会 朝日野総合病院と連携協定を締結しました。本学はこれまで、済生会熊本病院、熊本機能病院、くまもと南部広域病院、福田病院との間で連携協定を結んでおり、今回で5施設目となります。朝日野総合病院とは特にリハビリテーション学科の理学療法専攻が実習や就職で強い結びつきがありますが、連携協定として明文化することによって、その維持と更なる発展を目指します。



## 入学式

令和3年4月2日(金)にアリーナで入学式を挙行了しました。新型コロナウイルス感染拡大を防止する為、式典の参加者を入学生および本学教職員のみとし、学科単位を基本として時間帯を分散し、時間短縮により実施しました。医学検査学科105名、看護学科105名、リハビリテーション学科126名、大学院6名、助産別科20名、キャリア教育研修センター6名の総計368名の新入学生・研修生を迎えました。これからの大学生活でのご健闘をお祈りします。



## 大学機関別認証評価の結果について

リエゾンオフィサー 杉内 博幸

本学では、公益財団法人日本高等教育評価機構による第3期大学機関別認証評価の实地調査を令和2年11月17日～18日にWeb会議方式で受審し、評価結果(判定)として、令和3年3月16日付で「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。また、基準ごとの評価として、「基準1. 使命・目的等」「基準2. 学生」「基準3. 教育課程」「基準4. 教員・職員」「基準5. 経営・管理と財務」「基準6. 内部質保証」については、「基準1～6のすべてを満たしている」という評価を頂き、さらに優れた点として、基準2の「快適な学修環境の整備」、基準3の「修学ポートフォリオシステムの導入」の2項目が評価されました。

本学では、今回の評価でいただいたご意見について真摯に取り組みとともに、自己点検の改善・向上方策についても積極的に取り組み、教育研究の質の維持・向上に努めてまいります。



## 春のキャンパス見学会

令和3年3月27日(土)にキャンパス見学会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、午前・午後の2回に分け人数を制限しての実施となりました。

全体オリエンテーション後は、学科紹介や実習室の見学の他、進学相談、施設見学、ピア・サポーターとの交流会を実施しました。参加された高校生からは「スタッフの方が丁寧で優しくしてくださったので、安心して参加できました。」「パンフレット等とは違い、実物を見ることができて良かったです。広くてきれいでびっくりしました。」といった感想をいただいております。

参加者の皆様にとって、将来の職業選択の一助となれば幸いです。



## 理学療法学専攻の定員増について(文科省へ認可申請中)

本学では、理学療法学専攻の入学定員を20名増員し、健康・スポーツをキーワードに地域貢献できる人材やデータ分析等の研究力を有した人材育成を目指して、スポーツリハビリテーションコース(20名)を新設予定です。このコース選択者には、通常の理学療法士養成のカリキュラムに加え、スポーツリハビリテーションに特化した演習や講義を準備します。また、ダブル・ラーニング制度により、理学療法士資格に加え、日本アスレチックトレーナーズ協会認定のアスレチックトレーナー資格(現在、認定校申請中)の取得を目指します。

## 後援会役員紹介

本学後援会は、前身である銀杏学園短期大学の開学(昭和43年)と同時に結成されました。学園における教育の発展と施設の充実、会員と大学との連携を図ることを目的として、全ての学生の保護者に会員になっていただき、ご支援をお願いしております。

例年、後援会総会は入学式当日の4月2日に開催しておりますが、コロナ禍により中止し、令和3年度の審議事案(令和2年度決算報告、令和3年度予算案、役員改選案等)について本学ホームページに掲載し、承認を得ました。

役員改選では、卒業・入学等に伴い4名の役員が退任されると共に、新たに4名の役員が就任されました。

以下に、新役員を紹介します。(各役職とも五十音順に掲載。敬称略)

会長(1名) 西澤 裕司	田中 祐美子
副会長(3名) 栗原 大治	中山 美樹
西村 良子	鍋山 ゆかり
樋口 達巳	船越 政弘
理事(12名) 赤星 恵美	本多 愛華
糸山 いづみ	松田 恵美子
岩本 博	監事(3名) 池島 香織
緒方 乃里江	神永 しのぶ
黒澤 禎治	牧野 真由美
小倉 真奈美	会計(1名) 井上 智勝

※下線の方が新たに就任されました。

## 令和2年度 国家試験結果報告

元国家試験対策委員長・教授 南部 雅美

令和2年度の国家試験は新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で実施されましたが、試験結果には大きな影響は見られませんでした。模擬試験の結果の詳細な分析による対策講座やSG(スモールグループ)担任教員による個別面接指導等、本学の合格に向けた万全なサポートの賜物と自負しています。今後ご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

国家試験合格状況 令和2(2020)年度

		受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
臨床検査技師	本学	100	93	93.0
	全国	5,115	4,101	80.2
看護師	本学	108	107	99.1
	全国	66,124	59,769	90.4
保健師	本学	20	20	100
	全国	7,834	7,387	94.3
助産師	本学	21	21	100
	全国	2,108	2,100	99.6
理学療法士	本学	42	37	88.1
	全国	11,946	9,434	79.0
作業療法士	本学	39	37	94.9
	全国	5,549	4,510	81.3
言語聴覚士	本学	39	36	92.3
	全国	2,546	1,766	69.4

熊保大生の今を紹介します

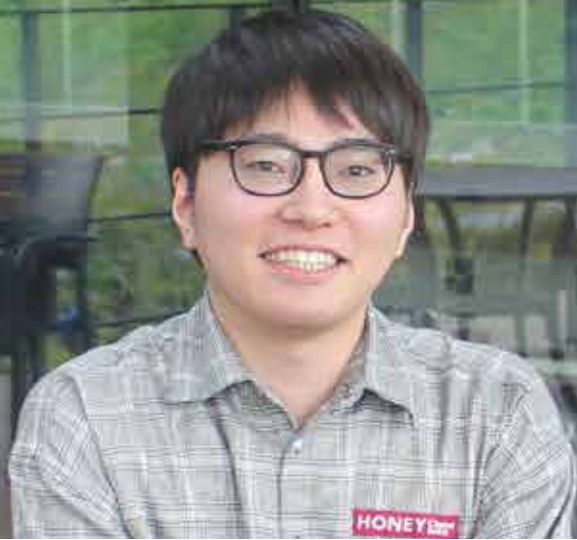
世界に羽ばたけ!

# 未来の巨匠

Vol.2

坂田 圭士郎さん

大学院 リハビリテーション領域 1年



※4月16日(金)にインタビューさせて頂きました

## 「言語聴覚士」として人の役に立ち、 将来は地元のリハビリ施設を!

### 志望理由は「人の役に立つ仕事をしたい」

高校は普通科文系で、当初は公務員への道を考えていました。でも、3年になってじっくり進路について考え、熊保大を志望することに。将来は人の役に立つ仕事をしたいと思い、言語聴覚士になろうと決めたからです。中学の頃に祖父が入院し、言語聴覚士のお世話になったことがあったので、職業自体は知っていました。また、看護師をしている2人の姉から勧められたことも後押しになりました。

とはいえ、文系出身ということで、受験や入学後の勉強には不安を感じていました。しかし、特にハンデを感じることはなく、充実した大学生活をおくれています。もし同じような不安を抱えている人がいたら、「熊保大なら大丈夫」と伝えたいですね。

### モチベーションを高める学び舎

熊保大の魅力は、学生自身がモチベーションを高めやすい環境が整っているところだと思います。例えば、学生5~8名と教授1~2人で構成される「スモールグループ担任制度」。勉強や国家試験対策などの相談をしやすく、とても助かりました。おかげで私も在学中に国家試験に合格できました。他にもコロ

ナ禍で在宅での勉強を余儀なくされた際、先生がリモートでコミュニケーションを図ってくれたことで、くじけずに頑張れました。

とはいえ、4年生の卒業研究はコロナの影響で実験などができず不完全燃焼でした。そこで、もっと掘り下げて勉強したいと大学院への進学を決意しました。私の研究のテーマは言語聴覚領域の摂食嚥下、特に誤嚥性肺炎の予防やリハビリです。言葉だけでなく食べることのお手伝いもしたいと思っています。

### 枠に囚われず、夢は大きく!

大学院へ進学後、リハビリ施設でのアルバイトを始めました。言語聴覚士として利用者さんと触れ合いながら技術を磨いているところです。その施設は偶然にも言語聴覚士の方が経営されており、人の役に立つことでリハビリ以外にもアクションがあることを知り刺激を受けました。私も枠に囚われず、さまざまなアクションを起こしていきたいと思っています。まだ漠然としています。将来の夢は地元の益城町にリハビリ施設をつくることです。看護師の姉たちと家族で楽しく運用し、利用者さんにも楽しく過ごしてもらえる施設にしたいと思っています。

あなたのモットーは?

「頑張りすぎないことを頑張る」

努力は大切だけど、無理をしすぎてはいけない。勉強でもリハビリでも、そのバランスを大事にしたいと思っています。




笑顔でインタビューに応えてくれた坂田さん。さらなる活躍に期待しています!



# 新任教職員紹介 ようこそ、熊本保健科学大学へ

# 学校法人銀杏学園 理事・幹事・評議員一覧

**医学検査学科**



教授  
**伊藤 隆明**


私は、横浜市立大学、熊本大学医学部に勤務したのちに、本学に赴任いたしました。授業の担当は病理学で、研究は肺の発生や肺癌が専門です。趣味は野鳥の写真撮影で、西里のような里山が好きです。学生さんには、将来の医療人に向けての第一歩として、病気の基礎を有意義に学べるよう、努めたいと思います。

**医学検査学科**

熊本大学大学院を卒業して、4月より医学検査学科に着任いたしました。私は、本学の卒業生です。思い出の詰まった母校で教育に携わることができ、大変嬉しく思っています。後輩たちと共に学び、そして共に成長していきたいと思えます。精一杯頑張りますので、何卒宜しく願い申し上げます。

**田中 美優**

**医学検査学科**



教務嘱託  
**吉永 浩子**

この度、医学検査学科教務嘱託職員として勤務することになりました。これまでの大学病院での臨床経験を学生実習に貢献出来ればと思っています。さまざまな花木が咲き誇り、鳥のさえずりが聞こえるとても恵まれた環境の中で、学生指導のお手伝いに携われることに感謝し、精一杯頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

**看護学科**



講師  
**吉田 理恵**

成人看護学領域に着任致しました。福岡の他学で教育経験を積んできましたが、伝統のある本学で看護に従事できることを嬉しく思います。主に成人看護実習を担当致しますが、臨床看護師の方と協働しながら学生の皆さんが看護のやりがいを体験できるよう努力して参りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

**看護学科**

5月より、基礎看護領域に着任させて頂きました。歴史と確かな基盤のある本学で教育に携わることができ、大変嬉しく思っています。微力ながら、学生の皆さんが相手を尊重した心の通い合うケアのできる医療者として成長できるよう教育に尽力していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

助教  
**原口 真由美**


**リハビリテーション学科  
理学療法専攻**



特任講師  
**荒木 理恵**

本年度より、理学療法専攻に着任しました。専門は運動器及びスポーツ領域です。以前は整形外科病院に勤務し、海外留学を経て、現在はスポーツトレーナーとしても活動しています。これまでの臨床経験と知識を生かし、学生と共に成長しながら人材育成、及び人間力豊かな未来ある理学療法士を育てて行きたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。


**キャリア教育研修センター  
認定看護師教育課程  
脳卒中看護分野**



専任教員・講師  
**杉本 智波**

2011年に当校の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程を修了し、急性期で勤務していました。現在はユマニチュード®認定インストラクターとしての活動もしております。脳卒中看護の専門性を持ち、臨床で活躍できる人材育成に少しでも貢献できるよう努力いたします。どうぞよろしく願いいたします。


**事務局長付**



**隈部 拓朗**

本年4月1日付けで、事務職員として入職致しました。以前は大学にて、経済分野の勉学に励んでおりました。毎日が新鮮かつ分からないことだらけで、何かとご迷惑をおかけすることが多々あるかもしれませんが、一日も早く本学に貢献できるように尽力してまいりますので、ご指導、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

**事務局長付**



**森川 真帆**

4月より事務職員として勤務しております。大学を卒業したばかりの未熟者ではありますが、本学での経験などから、まずは社会人として成長していきたいと思っております。私なりに本学のために尽力して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

**教学支援課**

4月1日付で学科事務として医学検査学科に勤務しております。周りの方々に助けられながら、日々本学のことを勉強しています。これまでも大学職員として長く学生をサポートしてきましたので、その経験を生かしながら、新しいことを吸収し、本学に貢献できるように頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。

**田中 仁美**

理事長	木下 統晴	銀杏学園理事長
理事	竹屋 元裕	熊本保健科学大学学長
	福田 稔	熊本県医師会会長
	榎原 真二	熊本保健科学大学副学長
	渡辺 雄一	熊本保健科学大学学部長
	榎田 浩	一般財団法人 化学及血清療法研究所 常務理事
	副島 秀久	社会福祉法人恩賜財団済生会 支部熊本済生会支部長
	高橋 毅	国立病院機構 熊本医療センター院長
	猪股 裕紀洋	元熊本大学附属病院院長 熊本労災病院院長
	永里 敏秋	KMバイオロジクス株式会社 代表取締役社長
	木下 統晴	一般財団法人 化学及血清療法研究所 理事長
監事	林田 喜一	税理士
	足達 聡	BR LINKS 代表
顧問	嶋元 達郎	前銀杏学園理事長
	竹屋 元裕	熊本保健科学大学学長
評議員	榎原 真二	熊本保健科学大学副学長
	渡辺 雄一	熊本保健科学大学学部長
	今村 修	銀杏学園法人局長
	河瀬 晴夫	熊本保健科学大学事務局長
	瀧口 巖	同窓会連合会会長
	原田 精一	医学検査学科同窓会会長
	中野 博之	看護学科同窓会会長
	池田 夕希	助産別科同窓会会長
	笹本 陵太	リハ学科同窓会会長
	福田 稔	熊本県医師会会長
	園田 寛	熊本市医師会会長
	福吉 葉子	熊本県臨床検査技師会副会長
	本 尚美	熊本県看護協会会長
	坂崎 浩一	熊本県理学療法士協会会長
	内田 正剛	熊本県作業療法士協会会長
池田 健吾	熊本県言語聴覚士会副会長	
馬場 秀夫	熊本大学病院院長	
平田 稔彦	熊本赤十字病院院長	
米満 弘一郎	医療法人社団寿量会 熊本機能病院 理事長	
毛利 浩一	株式会社フードバル熊本 代表取締役	
内田 昭治	西里校区自治協議会会長	
馬場 啓	銀杏学園顧問弁護士	
榎田 浩	一般財団法人 化学及血清療法研究所 常務理事	
藤井 隆	一般財団法人 化学及血清療法研究所 前副理事長 (2021年5月27日現在)	

# 令和3年度 入試結果

学科	入試区分		募集人員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	実質倍率	
医学検査学科	総合型選抜	エントリー	5	13	13	5	2.4	2.4	
		出願		12	5				
	学校推薦型選抜 (指定校)		15	15	15	15	—	—	
	学校推薦型選抜 (公募)		30	47	30	30	1.6	1.6	
	一般選抜		40	154	109	47	3.9	1.4	
	共通テスト利用 (前期)		5	108	66	8	21.6	1.6	
	共通テスト利用 (後期)		5	2	2	0	0.4	1.0	
学科合計			100	338	227	105	3.4	1.5	
看護学科	総合型選抜	エントリー	5	17	14	5	2.6	2.6	
		出願		13	5				
	学校推薦型選抜 (指定校)		15	13	13	13	—	—	
	学校推薦型選抜 (公募)		30	67	30	30	2.2	2.2	
	一般選抜		40	223	123	50	5.6	1.8	
	共通テスト利用 (前期)		5	104	45	6	20.8	2.3	
	共通テスト利用 (後期)		5	7	4	1	1.4	1.8	
学科合計			100	427	220	105	4.3	1.9	
リハビリテーション学科	理学療法専攻	総合型選抜	3	エントリー	14	10	3	3.3	3.3
				出願	10	3			
		学校推薦型選抜 (指定校)		5	4	4	4	—	—
		学校推薦型選抜 (公募)		12	42	14	14	3.5	3.0
		一般選抜		15	90	34	21	6.0	2.6
		共通テスト利用 (前期)		3	52	14	1	17.3	3.7
		共通テスト利用 (後期)		2	4	1	1	2.0	4.0
	社会人		若干名	0	0	0	—	—	
	専攻合計			40	202	70	44	5.1	2.9
	生活機能療法専攻	総合型選抜	3	エントリー	5	5	3	1.7	1.7
				出願	5	3			
		学校推薦型選抜 (指定校)		5	4	4	4	—	—
		学校推薦型選抜 (公募)		12	25	16	16	2.1	1.6
		一般選抜		15	30	20	12	2.0	1.5
		共通テスト利用 (前期)		3	39	30	5	13.0	1.3
		共通テスト利用 (後期)		2	0	0	0	—	—
	社会人		若干名	0	0	0	—	—	
専攻合計			40	103	73	40	2.6	1.4	
言語聴覚専攻	総合型選抜	3	エントリー	5	5	3	1.7	1.7	
			出願	5	3				
	学校推薦型選抜 (指定校)		5	7	7	7	—	—	
	学校推薦型選抜 (公募)		12	16	13	13	1.3	1.2	
	一般選抜		15	24	19	15	1.6	1.3	
	共通テスト利用 (前期)		3	37	25	4	12.3	1.5	
	共通テスト利用 (後期)		2	0	0	0	—	—	
社会人		若干名	1	0	0	—	—		
専攻合計			40	90	67	42	2.3	1.3	
学科合計			120	395	210	126	3.3	1.9	
保健科学部合計			320	1,160	657	336	3.6	1.8	

※専攻合計・学科合計・保健科学部合計の人数に総合型選抜のエントリー者数は含まれません。

※入試の詳細は、本学ホームページに掲載の入学試験要項をご確認ください。

# 令和3年度 学生在籍者数

5月1日現在

	保健科学部							助産別科	大学院保健科学研究科	特定行為 研修課程	認定看護師 教育課程 (脳卒中 看護分野)	大学合計
	医学検査 学科	看護 学科	リハビリテーション学科				学部合計					
			理学療法専攻	生活機能療法専攻	言語聴覚専攻	学科合計						
1年	108	105	44	40	42	126	339	20	6	0	6	371
2年	118	112	45	49	45	139	369		9			378
3年	109	124	46	39	48	133	366					366
4年	116	110	47	41	45	133	359					359
計	451	451	182	169	180	531	1,433	20	15	0	6	1,474

## 学友会役員紹介



令和3(2021)年度  
学友会会長

リハビリテーション学科  
理学療法学専攻3年

山内 佑介

本年度学友会会長を務めさせていただくことになりました、リハビリテーション学科理学療法学専攻の山内佑介です。副会長の河野晴希(理学療法学専攻3年)、松山直央(理学療法学専攻2年)をはじめとした209名で、先生方や事務局の方など学友会にかかわっていただくすべての方のお力をお借りして、1年間頑張っていきたいと思っております。

今年度の学友会は「つながり」を大きなテーマとして活動していこうと考えています。昨年度より、新型コロナウイルスの影響で思うような活動ができず、それに伴い学友会生の交流も例年に比べかなり減少しています。さらに今年度学友会の人数は200名を超えており、今まで以上のかかわりが必要不可欠です。様々な行事を達成させるためにも、次の世代により良い形で引き継ぎを行うためにも、まだまだ制限のあるなかではありますが、その中でベストな活動を行えるように、日々、努めていきたいと思っております。

今までとは違った形で自分自身不慣れな点があり、ご迷惑をお掛けすることもあると思っておりますが、運営部全員で一致団結して1年間全力でやり切りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



## 学食人気メニューランキング

私たち学友会広報(医学検査学科2年内山航、緒方大樹)は「普段よく利用している学食(レストランピリア)の人気メニューは何なのか?」と疑問に思い、レストランピリアに取材に行ってきました。人気メニューベスト3は以下の3つでした!



日替わり定食  
380円

学食の定番! 中華・和食・洋食  
いろんな味が楽しめてコスパ最強の一品です!



冷やし肉うどん  
300円

甘い味つけの肉、そして麺との相性抜群です!!  
急いでいる時におすすめです!



ヤンニョム丼  
380円

甘辛タレが絶品です!  
ご飯も進みます!!

### 調理師(沢田さん)から熊保大の皆さんへ

レストランピリアでは、手作りにこだわりつつ、リーズナブルなメニューをご用意しております。また季節に合わせて、飽きのこないメニューも展開して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。



## 令和3年度のクラブ・サークル活動について

学生委員長・教授 申 敏哲

昨年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により大学行事や大学イベントが軒並み中止となる中、本学学生は活動の場の多くをオンラインへ移行し、新しいスタイルのキャンパスライフを見出してまいりました。そうした中でもクラブ・サークル活動を継続させるため、感染予防対策を講じながら学生は努力してきましたが、COVID-19の感染流行に伴う社会的状況を鑑み実施出来ない状況にありました。

令和3年度も COVID-19収束の見込みがまだ見えてきませんが、クラブ存続のために感染予防対策を講じた上で「各クラブにおける新入部員勧誘のための顔合わせ会」の実施をしています。また、今年度のクラブ・サークル活動再開に対する大学の方針説明と意見交換会として、6月22日に50周年記念館で「クラブ部長・顧問連絡会議」を開催しました。何よりも学生の皆さんの大学生活の一部であるクラブ・サークル活動を一日も早く再開させ、楽しい大学生活が送れるよう努めてまいります。

# 新入生 インタビュー

今年度の新入生に入学しての感想・  
これからの抱負・楽しみにしている事etc…  
インタビュー！



## 医学検査学科

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

コロナ禍でも対面授業を組み込んでくださっている  
ので、学習に対する不安も和らぎ、友達と一緒に学  
べる喜びを実感しています。遠隔の授業でも全ての  
科目に質問受けがあり、疑問点にも先生方がすぐに  
答えてくださるので、充実した学習ができています。

### Q2 大学生活でやってみたいことは？

サークル、ボランティア活動に積極的に参加し、  
自分が苦手としているコミュニケーション力を伸ば  
したいです。また、図書館などを利用して、難しい  
科目についていけるように学習も怠らないように  
したいです。



鶴田 真紀

最後に  
ひとこと！

大学生活を楽しみつつ、人の命を預かる医療人を目指し、責任感を持って4年間がんばります！

## 看護学科

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

思ってたより対面授業があっぴかりしました。  
また、不規則な授業形態なので慣れるまでが大  
変そうだなと思いました。初めてのことで不安だ  
けですが、SGの先生方に頼ったり友達と協力し合  
いながら頑張りたいです。

### Q2 大学生活でやってみたいことは？

大学生は自由な時間が取りやすいので、ボラン  
ティアだけでなく、いろいろな活動で積極的にコ  
ミュニケーションをはかり、交友関係を広げたい  
です。

坂田 初花

最後に  
ひとこと！

思ってたより大変な大学生活ですが、4年後立派な看護師になれるよう頑張りたいです。

## リハビリテーション学科 理学療法専攻

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

入学したての頃は、何も分からない状態で勉強や  
交友関係に不安がありました。ですがこれまでとは違  
い、同じ目標を持った友人たちとの生活なので互  
いに支え合って頑張っているという気持ちになりま  
した。これから4年間一緒に頑張っていきたいです。

### Q2 大学生活でやってみたいことは？

クラブ活動にはいりたいと思っています。その中  
で年齢に関係なく交流を深めていきたいです。そ  
れと、行けるかどうかは分かりませんが、短期留学  
を経験して、視野や価値観を広げてみたいという  
思いもあります。



黒瀬 颯稀

最後に  
ひとこと！

様々な人たちの関わりを大事にしていきたいと思っています。

## リハビリテーション学科 生活機能療法専攻

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

入学当初は、初めての環境であることやコロナ禍とい  
うことで多くの不安がありました。しかし、先生方や先輩方  
に相談できる場があったので、充実した大学生活を送るこ  
とができています。大学の講義は専門用語が多く大変なこ  
ともありますが、ついていけるよう頑張りたいです。

### Q2 大学生活でやってみたいことは？

ボランティア活動に参加することです。コミュ  
ニケーション能力など将来に生かせる能力を身に  
つけることが出来るからです。活動を通して様々な人  
と交流して、社会貢献活動の大切さを学んでい  
きたいと思います。

三藤 早織

最後に  
ひとこと！

人との出会いを大切に、後悔のない4年間にしたいと思います。

## リハビリテーション学科 言語聴覚専攻

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

コロナ禍でも対面授業を受けることができ、友  
達とも会う頻度が思っていたよりも多いことがあ  
りありがたいです。入学当初から先生方、先輩方が手  
厚くサポートしてくださり、安心して大学生活をス  
タートできたと感じます。

### Q2 大学生活でやってみたいことは？

勉強はもちろん、サークル活動やボランティア活  
動を通して、他学年の先輩方、地域の方々と触れ  
合いたいです。言語聴覚士にはコミュニケーション  
力が求められるのでこういった活動に積極的に参  
加したいです。



榎蘭 結希菜

最後に  
ひとこと！

将来、多くの人から頼られる言語聴覚士になりたいので、4年間できることは沢山経験していきたいです。

## 助産別科

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

看護学科での学びをもとに、助産師という夢に  
向かってより専門的な内容を学んでいます。少人  
数制で先生方との距離も近いので、いつでも質問  
や相談ができ、毎日充実した時間を過ごしてい  
ます。

### Q2 大学生活でやってみたいことは？

助産別科では、すぐに臨地実習が始まるため、座  
学では学べない沢山のことを経験したいと思いま  
す。実際に妊婦さんと関わることも多いためコミュ  
ニケーションをとりながら少しでも力になれたら  
と思います。



岡本 華奈

最後に  
ひとこと！

1年間という短い期間ですが、夢に向かって仲間と共に頑張りたいと思います。

## 大学院

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

私は、他大学を卒業し大学院に入学しました。仕  
事との両立や遠隔授業に戸惑いもありましたが、  
先生方のご支援もあり充実した生活を送れていま  
す。他分野のことを学ぶ機会もありますので、少  
しでも知見を深めたいと思っています。

### Q2 大学生活でやってみたいことは？

臨床現場で勤めながらの学業になりますので、  
臨床現場での知識や疑問を生かせるように努力し  
ていきます。外出自粛もあり、他学生との交流は  
オンライン上ですが、お互いに切磋琢磨できるよ  
う交流していきたいです。



鉾之原 将希

最後に  
ひとこと！

周囲の方の協力もあり、入学することができました。少しでも知識を身に付けるために努力していきます。

これから共に頑張りましょう！



# 大学院紹介

研究科長 川口 辰哉



熊本保健科学大学は、臨床検査とリハビリテーションという2つの領域に大学院[修士課程]を設置しています。本学大学院の特徴として、(1) 各領域に精通し、基礎研究から臨床研究まで幅広い研究分野で活躍している教員の在籍、(2) 社会人が臨床現場に籍を置きながら大学院で学べる体制、(3) 柔軟な授業時間の設定、(4) 遠隔授業の充実等が掲げられます。本学大学院生は修士課程2年間の中で、これらの領域における高度な専門知識と技術を学ぶと共に、指導教員の指導のもと各々の研究課題について研究を行い、修士論文としてまとめることとなります。そのようなスケジュールの中で大学院教員は、皆さんが高度専門職業人としてリーダーシップをとれるよう、あるいは研究者や教育者として自立できるよう、精一杯のサポートをいたします。私たちと一緒に研究活動を通して学問や研究の楽しさを味わってみませんか！

## 熊保大大学院のメリット

### 減免制度

【本学の卒業（見込み）者・銀杏学園短期大学の卒業者】

「入学金」及び「年間授業料」の半額を免除

※入学金：入学時20万円→10万円

※授業料：年額80万円→40万円

【本学の学外実習受入れ機関等の職員】

「年間授業料」の半額を免除

授業料：年額80万円→40万円



### 奨学金・奨励金制度

【熊保大大学院奨学金制度】

本学学部で優秀な成績を修め大学院へ直接進学する意思を持つ方に対し、経済的障壁を除くための奨学金制度。

給付額：1年次110万円（一部入学金含む）

2年次100万円

【社会人スカラシップ制度】

勉学に強い意志を持ち、本学大学院学則に規定（第15条第2項）する社会人選抜出願資格を有する者で、入学・聴講・履修が許可されたものに対する奨励金制度。（本学大学院が定める他の減免・奨学金制度との併用はできない）

給付額：入学生一学納金の半額相当額

給付額：聴講生・科目等履修生一入学金及び学納金の半額相当額

### 遠隔授業の積極的な運用

本大学院では対面授業に加え、遠隔授業の活用も積極的に行っています。これにより、大学院生の通学にかかる負担を軽減することができ、熊本市近郊のみならず、遠隔地からの大学院入学も十分可能であると考えています。

### 長期履修制度

大学院生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に授業を履修し、修了することができる制度です。（延長期間は1年・修業年限は3年）

学修時間に制約等がある社会人大大学院生の多くはこの制度を活用しています。

※出願資格や減免制度等については、大学案内や各種募集要項をご覧ください。



大学院修生の声

福島 摩紀さん

臨床検査領域 修学生  
現在 熊本県職員として勤務

私は大学卒業後、そのまま大学院に進学しました。

大学院の1番の魅力は研究に没頭できる点です。研究計画を立て実行する難しさはありますが、担当教授と相談し興味ある分野を追究できます。また研究をまとめる過程で論文検索、データ処理や論文の書き方を身につけることができます。この能力は社会人となった今でも仕事に役立っています。

本校の特色としてリハ領域と同クラスで構成されている点が挙げられます。そのため検査領域の院生もリハの講義を受講できます。単位はレポート形式で取得するので覚えるための勉強ではなく、知識や視野を広げ自分の研究に役立てるための勉強ができます。他分野でも研究のヒントがあるので新鮮だったことを覚えています。卒業後の選択肢として大学院は十分魅力的だと思います。1人でも多くの院生の後輩が増えたら嬉しいです。



大学院修生の声

加島 将吾さん

リハビリテーション領域 修学生  
現在 東北大学大学院 博士課程に所属

私は学部生の時に動作解析の面白さを知り、より動作解析に関する知識を深めたいと思い大学院進学を希望しました。大学院に進学し、外部でのアルバイトを行いながら研究活動に励もうと思っていた矢先に熊本地震が起きました。生活が一変し、大学に行くことが難しい時期もありました。また、大学も大きな被害を受け実験装置なども故障してしまい、研究活動自体が行えず不安な時期もありました。しかし、指導教員であった松原誠仁先生をはじめ多くの先生方の多大なるご尽力により、研究を継続することができました。大学院の同期、先輩、後輩の方々とも励ましあいながら、無事に修士号を取得することができました。

《現在の博士課程における専門領域について》

所属は東北大学医学系研究科障害科学専攻肢体不自由学分野です。主に投球障害に関する動作分析を行っています。投球障害は投球中に肩や肘に力学的負荷がかかって発生すると考えられており、その原因の一つが投球動作であると考えられています。

私の研究は投球障害を有する選手の投球動作の特徴を明らかにすることを目的としています。

## 令和2年度決算報告

学校法人銀杏学園の令和2年度決算は、令和3年5月26日開催の評議員会及び理事会において承認されましたので、事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表を掲載し報告いたします。

### ①事業活動収支計算書

令和2年度の経常収支差額は+151百万円と収支均衡を達成しており、前年比+28百万円でした。収入面で付随事業収入が58百万円と、前年比+30百万円増加したことが貢献しました。

### ②資金収支計算書

令和2年度の翌年度繰越支払資金は1,818百万円となり、前年比▲228百万円でした。有価証券の運用現価を前年比+300百万円

拡大したことが主因です。

### ③貸借対照表

令和2年度の総資産は10,480百万円、負債926百万円、純資産9,554百万円となりました。これらの前年比は総資産が+395百万円、負債が+229百万円、純資産が+166百万円でした。

貸借を、資金の調達と運用という視点で見ると、流動負債増228百万円から調達した資金を、流動資産からの転用183百万円等と併せて、有価証券を含む固定資産という用途に運用した、ということが出来ます。

事業活動収支計算書要約（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円）

科目				科目						
		令和2年度決算	令和元年度決算	増減			令和2年度決算	令和元年度決算	増減	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,003,155	1,998,909	4,246	特別収支	資産売却差額	0	0	0
		手数料	33,405	39,180	△ 5,775		その他の特別収入	18,010	10,918	7,092
		寄付金	51,797	74,970	△ 23,173		特別収入計	18,010	10,918	7,092
		経常費等補助金	372,149	292,363	79,786		資産処分差額	2,987	5,580	△ 2,593
		付随事業収入	57,612	27,996	29,616		その他の特別支出	0	37	△ 37
	雑収入	66,859	40,164	26,695	特別支出計		2,987	5,617	△ 2,630	
	教育活動収入計	2,584,977	2,473,582	111,395	特別収支差額	15,023	5,301	9,722		
	事業活動支出の部	人件費	1,333,122	1,332,362	760	〔予備費〕				0
		教育研究経費	946,223	876,974	69,249	基本金組入前当年度収支差額	166,303	128,344	37,959	
		管理経費	198,248	181,993	16,255	基本金組入額合計	△ 398,855	△ 521,944	123,089	
徴収不能額等		0	0	0	当年度収支差額	△ 232,552	△ 393,600	161,048		
教育活動支出計		2,477,593	2,391,329	86,264	前年度繰越収支差額	△ 3,357,389	△ 2,963,789	△ 393,600		
教育活動収支差額	107,384	82,253	25,131	基本金取崩額	0	0	0			
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	43,896	40,790	3,106	翌年度繰越収支差額	△ 3,589,941	△ 3,357,389	△ 232,552	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	(参考)				
	教育活動外収入計	43,896	40,790	3,106	事業活動収入計	2,646,883	2,525,290	121,593		
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	事業活動支出計	2,480,580	2,396,946	83,634	
		その他の教育活動外支出	0	0	0					
		教育活動外支出計	0	0	0					
	教育活動外収支差額	43,896	40,790	3,106						
経常収支差額	151,280	123,043	28,237							

資金収支計算書要約（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円）

収入の部				支出の部			
科目	令和2年度決算	令和元年度決算	増減	科目	令和2年度決算	令和元年度決算	増減
学生生徒等納付金収入	2,003,155	1,998,909	4,246	人件費支出	1,331,963	1,318,767	13,196
手数料収入	33,405	39,180	△ 5,775	教育研究経費支出	569,256	512,497	56,759
寄付金収入	46,142	74,970	△ 28,828	管理経費支出	155,377	147,519	7,858
補助金収入	381,484	292,363	89,121	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	100,000	300,000	△ 200,000	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	57,612	27,997	29,615	施設関係支出	569,178	489,260	79,918
受取利息・配当金収入	43,896	40,790	114,338	設備関係支出	118,460	98,937	19,523
雑収入	66,859	40,164	26,695	資産運用支出	400,000	0	400,000
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	131,881	82,156	49,725
前受金収入	314,510	333,832	△ 19,322				
その他の収入	37,392	19,882	17,510				
資金収入調整勘定	△ 408,966	△ 402,708	△ 6,258	資金支出調整勘定	△ 372,298	△ 131,676	△ 240,622
前年度繰越支払資金	2,045,914	1,797,995	247,919	翌年度繰越支払資金	1,817,586	2,045,914	△ 228,328
収入の部合計	4,721,403	4,563,374	158,029	支出の部合計	4,721,403	4,563,374	158,029

貸借対照表要約（令和3年3月31日現在）

（単位：千円）

資産の部				負債の部				純資産の部			
科目	令和2年度末	令和元年度末	増減	科目	令和2年度末	令和元年度末	増減	科目	令和2年度末	令和元年度末	増減
固定資産	8,583,392	8,004,249	579,143	固定負債	176,623	175,464	1,159	基本金	13,143,618	12,744,763	398,855
有形固定資産	6,975,544	6,685,254	290,290	預り保証金	150	150	0	第1号基本金	12,970,618	12,571,763	398,855
土地	1,504,743	1,504,743	0	退職給付引当金	176,473	175,314	1,159	第4号基本金	173,000	173,000	0
建物	4,359,069	3,728,479	630,590	流動負債	749,503	521,323	228,180	繰越収支差額	△ 3,589,941	△ 3,357,389	△ 232,552
その他の有形固定資産	1,111,732	1,452,032	△ 340,300	未払金	369,756	128,189	241,567	翌年度繰越収支差額	△ 3,589,941	△ 3,357,389	△ 232,552
特定資産	170,000	170,000	0	前受金	314,510	333,832	△ 19,322	純資産の部合計	9,553,677	9,387,374	166,303
その他の固定資産	1,437,848	1,148,995	288,853	預り金	65,237	59,302	5,935	負債及び純資産の部合計	10,479,803	10,084,161	395,642
流動資産	1,896,411	2,079,912	△ 183,501	負債の部合計	926,126	696,787	229,339				
現金預金	1,817,586	2,045,914	△ 228,328								
その他の流動資産	78,825	33,998	44,827								
資産の部合計	10,479,803	10,084,161	395,642								

## 令和3年度予算報告

学校法人銀杏学園の令和3年度予算は、令和3年5月26日開催の評議員会及び理事会において承認されましたので、事業活動収支予算書、資金収支予算書を掲載し報告いたします。

### ①事業活動収支予算書

令和3年度の経常収支差額は±0百万円と収支均衡が保たれていますが、前年比151百万円減少します。前年度に予定されていた教育研究活動の中には遅れて令和3年度に実行されるものもあり、教育研究経費が前年比141百万円増加することが影響しています。

### ②資金収支予算書

令和3年度の翌年度繰越支払資金は1,300百万円となり、前年比518百万円減少します。これは有価証券への新規投資500百万円を計画していることが影響しています。

事業活動収支予算書要約（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円）

科目		令和3年度予算	令和2年度決算	増減	科目		令和3年度予算	令和2年度決算	増減		
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,011,000	2,003,155	7,845	特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		手数料	40,000	33,405	6,595			その他の特別収入	0	18,010	△ 18,010
		寄付金	15,000	51,797	△ 36,797			特別収入計	0	18,010	△ 18,010
		経常費等補助金	373,000	372,149	851		支出の部	資産処分差額	0	2,987	△ 2,987
		付随事業収入	54,000	57,612	△ 3,612			その他の特別支出	0	0	0
		雑収入	36,000	66,859	△ 30,859			特別支出計	0	2,987	△ 2,987
		教育活動収入計	2,529,000	2,584,977	△ 55,977			特別収支差額	0	15,023	△ 15,023
	事業活動支出の部	人件費	1,313,756	1,333,122	△ 19,366	〔予備費〕		30,000		30,000	
		教育研究経費	1,087,434	946,223	141,211	基本金組入前当年度収支差額	△ 30,000	166,303	△ 196,303		
		管理経費	183,810	198,248	△ 14,438	基本金組入額合計	△ 398,431	△ 398,855	424		
		徴収不能額等	0	0	0	当年度収支差額	△ 428,431	△ 232,552	△ 195,879		
		教育活動支出計	2,585,000	2,477,593	107,407	前年度繰越収支差額	△ 3,589,941	△ 3,357,389	△ 232,552		
		教育活動収支差額	△ 56,000	107,384	△ 163,384	基本金取崩額	0	0	0		
						翌年度繰越収支差額	△ 4,018,372	△ 3,589,941	△ 428,431		
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	56,000	43,896	12,104	(参考)					
		その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動収入計	2,585,000	2,646,883	△ 61,883		
		教育活動外収入計	56,000	43,896	12,104	事業活動支出計	2,615,000	2,480,580	134,420		
	支出の部	借入金等利息	0	0	0						
		その他の教育活動外支出	0	0	0						
		教育活動外支出計	0	0	0						
教育活動外収支差額	56,000	43,896	12,104								
経常収支差額	0	151,280	△ 151,280								

資金収支予算書要約（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円）

収入の部				支出の部			
科目	令和3年度予算	令和2年度決算	増減	科目	令和3年度予算	令和2年度決算	増減
学生生徒等納付金収入	2,011,000	2,003,155	7,845	人件費支出	1,313,756	1,331,963	△ 18,207
手数料収入	40,000	33,405	6,595	教育研究経費支出	698,115	569,256	128,859
寄付金収入	15,000	46,142	△ 31,142	管理経費支出	143,234	155,377	△ 12,143
補助金収入	373,000	381,484	△ 8,484	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	0	100,000	△ 100,000	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	54,000	57,612	△ 3,612	施設関係支出	251,263	569,178	△ 317,915
受取利息・配当金収入	56,000	43,896	12,104	設備関係支出	147,168	118,460	28,708
雑収入	36,000	66,859	△ 30,859	資産運用支出	500,000	400,000	100,000
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	369,756	131,881	237,875
前受金収入	314,000	314,510	△ 510				
その他の収入	75,134	37,392	37,742	〔予備費〕	30,000		30,000
資金収入調整勘定	△ 391,720	△ 408,966	17,246	資金支出調整勘定	△ 353,292	△ 372,298	19,006
前年度繰越支払資金	1,817,586	2,045,914	△ 228,328	翌年度繰越支払資金	1,300,000	1,817,586	△ 517,586
収入の部合計	4,400,000	4,721,403	△ 321,403	支出の部合計	4,400,000	4,721,403	△ 321,403

### 目次

#### I 法人の概要

- 1 建学の精神、基本理念及びミッション
- 2 沿革
- 3 役員・評議員
- 4 設置する学校・学部・学科等
- 5 入学定員及び学生数
- 6 教職員の概要
- 7 卒業生の概要

#### II 事業の概要

- 1 主な事業の内容
  - (1) 全体概要
  - (2) 教育に関すること
  - (3) 研究に関すること
  - (4) 経営に関すること
  - (5) 業務運営・その他に関すること
- 2 学生の動向
  - (1) 入学試験における志願等の状況
  - (2) 国家試験の合格状況
  - (3) 卒業生の進路状況

#### III 財務の概要

- 1 事業活動収支計算書(過去5年分)
- 2 貸借対照表(過去5年分)
- 3 財務比率(過去5年分)

ここでは、II 事業の概要の「1 主な事業の内容」を紹介します。

#### II 事業の概要

##### 1 主な事業の内容

###### (1) 全体概要

2020(令和2)年度は、世界中が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、様々な制約を受ける中で大学の運営が求められました。

本学では、新型コロナウイルスの感染状況に応じ、危機対策本部(本部長：竹屋学長)を中心として、新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ(代表：川口教授)や新型コロナウイルスPCR検査ワーキンググループ(代表：楯原教授)と連携をとりながら、コロナ下での大学運営を行いました。基本的な考え方として、文部科学省等からの各種通知を精査し、学生に対して以下の3つの点が保証されるような手段や方法を検討し、実行しました。

- ①「単位の認定」に影響が出ないこと
- ②「学士号の取得」に影響が出ないこと
- ③「国家試験の受験資格」に影響が出ないこと

具体的には、4月27日から遠隔授業を開始するとともに、遠隔授業受講のための修学支援として、学部学生全員に対して一律30,000円を支給しました。また、緊急事態宣言が解除されたことを受け、6月1日から「実技を伴う科目」や「機器の取り扱いに関

する科目」などに限定して対面式の授業を開始しましたが、昼食時の感染リスクを抑制するため、分散登校により学生は基本的に午前または午後だけの登校としました。

後期セメスターからは、授業の質を上げるため以下の二つの対応を進めました。

- 1)対面による授業を増やすため、本学独自の学内PCR検査を全学生・教職員を対象に無料で実施しました。
- 2)遠隔授業の質を上げるため、新たに学習管理システム(LMS)としてmanaba(朝日ネットによるクラウド型教育支援システム)を試行的に導入しました。

さらに、令和2年度は大学機関別認証評価の受審年度(第3サイクル)であったため、リエゾン・オフィスを中心に受審の準備を進めました。コロナ禍の影響で、実地調査はWeb会議方式での実施でしたが、理事長・学長以下全学的な体制で対応し、結果的に3サイクル連続で「改善を要する点」、「公表すべき参考意見」ともに該当なしで「評価基準に適合している」との評価を得ることができました。

##### (2) 教育に関すること

- 1)「総合型選抜【新規】」等の実施による「意欲ある受験生」の選抜  
〔目標〕新たな入試制度による厳正な選抜の実現(定員充足率115%)
  - ・コロナ禍の影響で対面による募集広報活動が大きく制限される中、受験者の動向が予測しづらく、最終的な定員充足率は105%【目標達成率91%】
  - ・すべての入試区分において、感染対策に係る国の指針(入室制限、消毒等)に沿って、混乱することなく入学者選抜を実施
  - ・初めて実施された「総合型選抜」では、エントリー段階での倍率が2.8倍を超え、リーダーシップ選抜の趣旨に合う受験生を確保
  - ・「学校推薦型選抜(公募)」における推薦書や「一般選抜」における志願者調査の点数化を始めとして、新たなルールに沿った評価法を実現
- 2)アセスメントプランに基づいた学修成果の検証とフィードバック  
〔目標〕アセスメントプランの着実な実行(実行率100%)
  - ・アセスメントプランに基づき、以下のとおり実施【目標達成率100%】
    - 国家試験合格率、就職・進学率、進級・卒業率、中退率等の分析(4～5月)
    - 基礎力レポートI(1年次4月)→分析資料を共有フォルダ上で公開
    - 基礎力レポートII(3年次10～11月)→分析資料を共有フォルダ上で公開
    - 学修行動調査(1年次9月、2～4年次4月)
    - 授業改善アンケート(前期：回収率61.1%、後期：回収率53.8%)
    - 卒業/修了時アンケート(2月)、卒業生アンケート(12月)：



回収率59.4%)

就職先アンケート(2月：191施設を対象に実施)

- 3)SG担任を中心とした修学ポートフォリオ等を活用した学生支援  
〔目標〕セメスターごとの学生へのフィードバック(実施率100%)
- SG担任による学生面談：コロナ禍の影響で指定学生及び希望学生のみ実施【目標達成率70%】
  - 学生による修学ポートフォリオへの入力率94%
  - ディプロマサブリメントとしての活用：システムのカスタマイズを実施

### (3)研究に関すること

- 1)品質保証・精度管理講座(仮称)の新設等による共同研究の拡充  
〔目標〕共同研究講座と学部・大学院研究との連携の実現(連携事例1件)
- 品質保証・精度管理に関する新設科目を文科省へ届出(令和3年度開講)【目標達成率100%】
  - 一般企業から新設講座へ入学できるように大学院社会人選抜の出願資格を変更
  - 共同研究講座の特命教授が、大学院生1名の研究指導を担当
- 2)動物実験施設に係る環境整備計画の策定  
〔目標〕動物実験施設の改修方針の決定(今年度中)
- 動物実験施設ワーキンググループにおいて方針案の策定【目標達成率100%】
  - 2号館飼養保管室の空調不具合に伴う点検調整作業の実施
  - 動物実験施設の空調フィルタ清掃を定期的に実施(2ヶ月に1回)

### (4)経営に関すること

- 1)PDCAサイクルの循環による中長期計画の着実な実行  
〔目標〕年次計画との同期化による中長期計画の達成度評価とローリング(対計画進捗率100%)
- 令和元年度から導入した新たな枠組みでの中期計画の実行状況を踏まえ、令和2年6月までに達成度評価を実施
  - 達成度評価に基づき、中期計画のローリング(期中修正)を実施し、令和2年9月の理事会・評議員会で承認【目標達成率100%】
- 2)財政の適正化による次の成長戦略のための体力回復  
〔目標〕収支予算の達成(経常収支差額の予算達成率100%)
- 経常収支差額±ゼロの収支予算に対して、コロナ禍に伴う支出の減少もあり、経常収支差額は黒字を確保できる見込み【目標達成率100%】
- 3)学科・専攻等の新設／定員増に向けた綿密な事前調査と設置準備  
〔目標〕競争力のある学科・専攻等の新設／増員計画の策定と申請(対計画進捗率100%)

- 理学療法学専攻の収容定員増に向けた綿密な調査・検討を実施し、令和2年12月の理事会で意見聴取を行ったうえで、令和3年3月の理事会・評議員会において文部科学省に増員申請を行うことを承認【目標達成率100%】

- 4)大学という成熟マーケットにおける継続的な競争優位性と競合他大学の動向を踏まえた競争戦略の検討  
〔目標〕継続的な競争優位性と競合他大学の動向を踏まえた競争戦略の策定(対計画進捗率100%)
- 客観的な定量データによる本学の現状整理や、本学を取り巻く環境についての情報整理を踏まえて、マーケティング戦略(競争戦略)のアウトラインを策定【目標達成率100%】

### (5)業務運営・その他に関すること

- 1)大学の内部品質保証体制の確立  
〔目標〕教育改革推進会議主導による3ポリシー達成度の検証(随時)  
〔目標〕各種IRデータに基づくマネジメント(随時)
- 教学マネジメント指針や各種規程を反映させたアセスメントプランの見直しを実施
  - 学外有識者を構成員とする大学評価委員会の開催(3月)【目標達成率100%】
  - 教学IRによる分析と評価をアセスメントプランに従って適切に実施【目標達成率100%】
  - IRデータを活用して自己点検評価書を作成
- 2)「第3期大学機関別認証評価」実地調査に向けた全学的な対応の実現  
〔目標〕リエゾン・オフィスを中心とした全学的な体制の強化(適合の獲得、重大な指摘事項0)
- 日本高等教育評価機構が定める評価基準に適合していると認定(3月)
  - 「改善を要する点」、「公表すべき参考意見」ともに該当なし【目標達成率100%】
  - 優れた点として以下の2点が取り上げられた。
    - ① 快適な学修環境の整備に努めている点
    - ② 学生の到達度をレーダーチャートで可視化できる「修学ポートフォリオ」システムを導入している点
- 3)「大学コンソーシアム熊本」で形成するプラットフォームへの積極的な参画  
〔目標〕各種委員会等への委員の派遣(委員会及び作業部会への参画)
- 各種取組に対する目標値の設定とその達成(達成率100%)
  - プラットフォーム作業部会では、熊本学園大、崇城大とともに中核として参画【目標達成率100%】
  - コロナ禍の影響で中止になった取組以外は、当初の目標どおりに参画【目標達成率60%】
  - 企画・運営委員会において、中期計画に基づいた適切な提案を実施

## 令和3年度事業計画

### 学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学 令和3年度の主な取組み

#### 教育

##### 【令和3年度の「重点的な取組み」及び「達成目標」】

- 新カリキュラムの導入と既存カリキュラムの再評価  
⇒厚生労働省指定規則に沿ったカリキュラムの決定と既存カリキュラムの再評価(実行率100%)
- アセスメントプランに基づいた学修成果の検証とフィードバック  
⇒アセスメントプランの着実な実行(実行率100%)
- SG担任を中心とした修学ポートフォリオ等を活用した学生支援  
⇒セメスターごとの学生へのフィードバック(実施率100%)
- 新型コロナウイルスの感染防止に配慮した教育体制の整備  
⇒遠隔授業の整備と効果的運用および三密を避けた教育環境の整備  
⇒学外実習配置前の学生を対象としたPCR検査実施

##### 【中期計画の期間目標】★印は令和3年度の重点項目

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1) 優秀で意欲ある入学生の確保     | 6) 学生の主体的活動の支援 |
| ★ 2) 教育内容の充実・洗練と質の保証 | ★ 7) 国家試験対策の強化 |
| ★ 3) 授業の質向上と学務IRの推進  | 8) 就職支援の強化     |
| ★ 4) 教育結果の検証とフィードバック | 9) 社会活動の推進     |
| 5) 学外実習の充実           | 10) 国際力の向上     |

#### 研究

##### 【令和3年度の「重点的な取組み」及び「達成目標」】

- 共同研究講座による共同研究の拡充と学部・大学院研究への展開  
⇒共同研究講座と学部・大学院研究との連携の実現(連携事例1件以上)
- 若手研究者の研究促進  
⇒学位取得の推進、校内教員との共同研究の実施、外部資金の獲得
- 動物実験施設に係る環境整備  
⇒動物実験施設の改修(今年度中)

##### 【中期計画の期間目標】★印は令和3年度の重点項目

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| ★ 1) 本学の特色を生かした共同研究の推進 | 5) 研究費の効果的配分   |
| ★ 2) 若手研究者の支援          | 6) 研究成果の社会への還元 |
| ★ 3) 研究環境の整備           | 7) 倫理規定の遵守     |
| 4) 外部資金の獲得             |                |



#### 経営

##### 【令和3年度の「重点的な取組み」及び「達成目標」】

- 理学療法学専攻の収容定員増に向けた申請と準備／新学科等の開設に向けた設置準備  
⇒令和4年度入学生からの増員の実現／綿密な設置計画の策定と実施(対計画進捗率100%)
- 財政の適正化による次の成長戦略のための体力回復  
⇒収支予算の達成(経常収支差額の予算達成率100%)
- 10年後も20年後も選ばれ続けるためのブランディング／継続的な競争優位性を確立するためのマーケティング  
⇒独自性(個性)に基づいた差別化／競合他大学の動向を踏まえた競争戦略の実行(対計画進捗率100%)

##### 【中期計画の期間目標】★印は令和3年度の重点項目

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1) 中長期計画の実行とローリング         | 6) 学費水準の検討/財源の多様化      |
| ★ 2) ブランド力の構築・強化          | ★ 7) 病院・大学との連携/マーケティング |
| ★ 3) 財政の適正化               |                        |
| ★ 4) 組織の整備・拡充/人事・給与制度の適正化 | 8) 奨学金制度の新設・拡充         |
| 5) 施設の活用・整備               | 9) 事務の効率化              |
|                           | 10) 自己管理/内部監査          |

#### 業務運営・その他

##### 【令和3年度の「重点的な取組み」及び「達成目標」】

- 大学の内部質保証の機能性確保  
⇒アセスメントプランに基づく自己点検・評価の実行と改善(実行率100%)  
⇒認証評価の結果を受けた改善への取組(改善目標に向けた取組率100%)
- 教職員の適正配置と能力向上  
⇒事務部門における部署ごとの適正人員の洗い出しと確保(適正人数の確定)  
⇒体系的なSD構築に向けた調査・研究(原案の作成)
- 新型コロナウイルス対策に関連した地域貢献  
⇒学内PCR検査体制の継続的運用と外部検体の受託検査

##### 【中期計画の期間目標】★印は令和3年度の重点項目

- |                              |
|------------------------------|
| ★ 1) 学長のリーダーシップによる大学のガバナンス強化 |
| ★ 2) 人事評価制度の改善及び教職員の能力向上     |
| 3) 職場の環境づくりの推進               |
| ★ 4) 評価の充実                   |
| 5) 情報公開や情報発信等の推進             |
| 6) プラットフォーム形成への参画            |

オンライン留学の  
よかったことは？



看護学科 4年  
松田 菜々子

オンライン留学を通して、英語で話す楽しさを感じることができました。先生の質問に Zoom のチャットで答えたり、小グループ(3~4人)に分かれて話をしたりしました。はじめは緊張しましたが、先生のジョークを聞いて笑い合うことも多く、楽しんで学ぶことができました。コロナ禍だからこそ今の生活の大変さや早く収束してほしいという思いを話し共感しあう場面もありました。また、アメリカ、中国、スペインなど様々な国の人や海外の大学に進学したいという日本人など色々な目的を持った人がいて、学習への意欲もとても高まりました。ありがとうございました。

オンライン留学の  
よかったことは？



リハビリテーション学科  
理学療法専攻 2年  
脇 蓮太郎

このプログラムに参加して考え方の幅が広がりました。同じクラスには中国人や韓国人、さらにはスペイン人もおり、各国の母国語の訛りが入った英語を聞くことができ、とてもおもしろかったです。恋バナで盛り上がったときには、恋バナは世界を超えるものだとかって嬉しかったですし、笑いのツボが同じだったときには、仲の良い友達気分でした。遠くの存在だと思っていた人たちが、実はとても身近な存在だということがわかりました。また、日本の英語は堅いと言われますが、高校で習ったイディオムを半信半疑で使って通じた時は、学校でやってきたことは無駄じゃなかったと思いました。

Library

図書館ホームページ <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/library.html>

『図書館報2021春号』を作成しました。

新図書館紹介と館長の巻頭言、データベース紹介など。どうぞご覧ください。図書館ホームページの【図書館について】にアクセスしてください。

自動貸出機を導入しました。

借りたい本を自分で瞬時に借りることができます。ICシステムを導入したことにより、運用可能となりました。どうぞご利用ください。



『私の部屋でランチを』第43回開催。

コロナ禍で2020年度は休止しましたが、2021年5月、キャンパステラス会場参加人数を制限し、大教室へ生中継とZoom生配信でハイブリッド開催としました。オンデマンドサービスも実施。演者は、4月に就任された木下統晴理事長、演題は『大学入学から52年、そしてOH!120 どんな時にも前向きにチャレンジ!』。学生時代から就職までのご経験と世相を交えながらのご講演でした。次回も引き続き、演者は木下理事長です。6月開催予定。



『ホカボン&ホカじい』グッズ、イベント参加でももらえます。

図書館イメージキャラクター『ホカボン&ホカじい』のグッズをイベント参加でもらえます!『私の部屋でランチを』『サイエンスカフェ』『選書ツアー』等に参加し、ポイントを集めると、ホカボンのグッズがもらえます。遠隔やオンデマンド参加も可。ぜひご参加ください。



\*図書(本学教員著書)のご紹介 図書館蔵書の中からは今回お休みします。

基本理念

本学は、「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を四綱領とし、以下の基本理念を掲げる。

1. 保健医療分野に関する専門知識技術の教育と研究を行う
2. 人間と社会に深い洞察力を持つ人材の育成
3. 高度な知識と技術を有し、保健医療分野に貢献できる人材の育成
4. 豊かな人間性を備え、創造性に富み、活力ある人材の育成

教育目標

1. 生命の尊厳と社会への洞察力を有し、自立できる人材を育てる
2. 広い視野に立ち、課題探求力と問題解決力を有する人材を育てる
3. 医療専門職と連携協働し、自己責任の果たせる人材を育てる
4. 多様な価値観を理解し、国際的な言語運用能力と情報技術を持つ人材を育てる

将来ビジョン

保健医療系大学として、我が国のリーディング大学の一つとなる

**Vision 1**  
社会の変化に対応し、リーダーシップを発揮できる医療技術者の養成

ビジョン 1-1  
教育改革の推進と学生ファーストの修学支援

ビジョン 1-2  
独創的な研究の推進と大学院の充実

**Vision 2**  
地域に根ざし、地域と共に歩み、社会の幸福実現に貢献

ビジョン 2-1  
教育・研究組織の充実

ビジョン 2-2  
魅力的な教育・研究環境の充実

**Vision 3**  
10年後も20年後も選ばれ続けるためのブランド力の強化

ビジョン 3-1  
学生・教職員の国際力の向上と海外の大学等との連携強化

ビジョン 3-2  
教員と職員が協働する効率的・合理的な職場環境の構築

編集後記

日本でCOVID-19の感染が確認されてから、約1年半経ちました。学生の皆さんをはじめ多くの方が、大変な状況を体験されたと思います。そのなかで、各自ができることを一生命懸行されたすべての方に敬意を表します。

# 令和4年度 熊本保健科学大学 入試概要

## ■ 募集人員

学部	学科 / 専攻	募集人員	合計	
保健科学部	医学検査学科	100名	320名 (340名)*1	
	看護学科	100名		
	リハビリテーション学科	理学療法専攻		40名(60名)*1
		生活機能療法専攻		40名
		言語聴覚専攻		40名

## ■ 入試区分別募集人員 (保健科学部)

入試区分	総合型 選抜*2	学校推薦型選抜 指定校 公募	一般 選抜	大学入学共通テスト利用選抜 前期日程 後期日程	特別選抜 社会人	合計	
医学検査学科	5名	15名 30名	40名	5名 5名		100名	
看護学科	5名	15名 30名	40名	5名 5名		100名	
リハビリテーション学科 理学療法専攻*1	3名 (4名)	5名 (8名)	12名 (18名)	15名 (23名)	3名 (4名)	2名 (3名)	若干名 40名 (60名)
リハビリテーション学科 生活機能療法専攻	3名	5名	12名	15名	3名	2名	若干名 40名
リハビリテーション学科 言語聴覚専攻	3名	5名	12名	15名	3名	2名	若干名 40名
合計	19名 (20名)	45名 (48名)	96名 (102名)	125名 (133名)	19名 (20名)	16名 (17名)	若干名 320名 (340名)

\*1 理学療法専攻において、入学定員増を予定しています(収容定員増加の認可申請中)。認可された場合、募集人員は( )内の人数に変更となります。この内容は現時点の予定であり、変更になる場合がありますので、詳細は入学試験要項・ホームページ等でお知らせします。  
\*2 総合型選抜タイプA(奨学金あり)の募集人員です。タイプB(奨学金なし)は、各学科・専攻ともに若干名の募集となります。

## ■ 入学試験日程一覧 (保健科学部)

入試区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
総合型選抜	(エントリー期間) 令和3年9月1日(水)~9月9日(木) (出願期間) 令和3年10月1日(金)~10月12日(火)	10月23日(土)	11月1日(月)	令和3年11月1日(月) ~11月12日(金)
選学校推薦 選抜型	指定校	令和3年11月1日(月) ~11月12日(金)	11月20日(土)	令和3年12月1日(水) ~12月15日(水)
	公募			
一般選抜	前期日程	令和4年1月4日(火) ~1月26日(水)	2月4日(金) 2月17日(木)	令和4年2月17日(木) ~2月24日(木)
	後期日程	令和4年2月18日(金) ~2月28日(月)	3月4日(金) 3月11日(金)	令和4年3月11日(金) ~3月18日(金)
選特別	社会人	令和3年10月18日(月) ~10月29日(金)	11月6日(土)	令和3年12月1日(水) ~12月15日(水)

## ■ 入学試験日程一覧 (助産別科・大学院・キャリア教育研修センター)

助産別科入試区分	出願期間	試験日	合格発表	募集人員
推薦入試	令和3年 10月18日(月) ~10月29日(金)	11月6日(土)	11月12日(金)	10名
一般入試	令和3年 11月15日(月) ~11月29日(月)	12月4日(土)	12月10日(金)	10名

大学院入試区分	出願期間	試験日	合格発表	募集人員
推薦選抜	令和3年 10月18日(月) ~10月29日(金)	11月6日(土)	11月19日(金)	10名
出願資格審査	令和3年10月1日(金)~10月13日(水)			
社会人選抜 (I期)	令和3年 10月18日(月) ~10月29日(金)	11月6日(土)	11月19日(金)	
出願資格審査	令和4年1月27日(木)~2月4日(金)			
一般選抜	令和4年 2月9日(水) ~2月21日(月)	2月26日(土)	3月4日(金)	10名
出願資格審査	令和4年1月27日(木)~2月4日(金)			
社会人選抜 (II期)	令和4年 2月9日(水) ~2月21日(月)	2月26日(土)	3月4日(金)	

キャリア教育研修センター 入試区分	出願期間	試験日	合格発表	募集人員
認定看護師教育課程 (臨床看護分野)	令和3年 10月25日(月) ~11月19日(金)	12月4日(土)	12月21日(火)	6名
特定行為研修課程	令和3年 10月25日(月) ~11月19日(金)	12月4日(土)	12月21日(火)	2名

入試に関するお問い合わせ

**熊本保健科学大学 入試・広報課** TEL.096-275-2215 (直通)  
〒861-5598 熊本市北区和泉町 325 番地 E-mail: nyushi@kumamoto-hsu.ac.jp https://www.kumamoto-hsu.ac.jp

## 「熊保大夢基金」 お礼とお願い

本学園では、学生の奨学・修学支援、教育環境の充実を目的として、「学校法人銀杏学園 熊保大夢基金」への寄付をお願いしております。令和2年度においては132件4600万円を超える御寄付を頂き、この場を借りて心から御礼申し上げます。頂いた御寄付は「新レストラン」「新キャンパス」などの整備費用の一部として活用させて頂きました。令和3年度も学内実習設備の拡充や、「クラウド型教育支援サービスmanaba(マナバ)」の本格正式導入等へ大切に活用させて頂く予定です。是非、基金の趣旨に御賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳細につきましては同封の「寄付金 募集要項」または公式WEBサイト(URL) <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp> を御覧頂くか、本学 経理課までお問い合わせ下さい。

## 第6回保健科学国際シンポジウム2021

The 6th Allied Health Sciences International Symposium 2021  
see more

令和3年10月8日(金)に本学主催「第6回保健科学国際シンポジウム」がオンラインで開催されます。国際シンポジウム特設ホームページも本学ホームページ(<https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/en/>)内左記バナーよりアクセスできますので、ご覧ください。

Webで  
オープンキャンパス!  
スマホやPCで気軽に  
参加できます。  
詳しくはホームページをご覧ください。

7.18 / 8.22 / 9.5

Japan Institution for Higher Education Evaluation  
**JIHEE**  
since 2004  
**UNIVERSITY**  
2020.4-2027.3

熊本保健科学大学では、公益財団法人日本高等教育評価機構において令和2年度大学機関別認証評価を受審し、令和3年3月16日付けで同機構が定める大学評価基準に適合していることが認定されました。本学では今回の認証評価の結果を踏まえ、今後も更なる向上に努めて参ります。